

◆ 令和3年度 玉島地区の茶会

初心者マーク(🍃)のついたお茶会は、初心者歓迎のお茶会です。楽な服装でどうぞ。受付で初心者ですと伝えると親切にご案内いただけます。

開催日	茶会	主催	お茶券	場所
コロナ感染拡大防止のため中止	良寛茶会	(一財)聖良寛奉賛会		円通寺
5月	5日(水) 🍃	端午の節句茶会	300円	玉島市民交流センター
	9日(日) 🍃	月釜(浅沼社中)	500円	玉島市民交流センター
7月	4日(日) 🍃	七夕茶会	300円	玉島市民交流センター
	11日(日) 🍃	月釜(藤代社中)	500円	玉島市民交流センター
9月	12日(日) 🍃	月釜(武政社中)	500円	玉島市民交流センター
10月	3日(土) 🍃	月釜(猪木宗桂)	500円	玉島市民交流センター
	24日(日) 🍃	ハロウィン茶会	300円	玉島市民交流センター
11月	28日(日) 🍃	玉島物産展	300円	玉島市民交流センター
12月	5日(日) 🍃	月釜(小野宗享)	500円	玉島市民交流センター
	18日(土) 🍃	クリスマス茶会	300円	玉島市民交流センター
1月	8日(土) 🍃	新春茶会	300円	玉島市民交流センター
	9日(日) 🍃	月釜(吉川・浅沼社中)	500円	玉島市民交流センター
2月	13日(日) 🍃	月釜(星島宗昌)	500円	玉島市民交流センター
	27日(日) 🍃	ひいな茶会	300円	玉島港橋広場
3月	13日(日) 🍃	月釜(岡辺社中)	500円	玉島市民交流センター
開催未定(詳細は別途お問い合わせ下さい)	文化祭茶会	玉島表千家流同友会、裏千家玉交会、藪之内流竹風会	お問い合わせ下さい	円通寺

【注】新型コロナウイルス感染防止のため中止になることがあります。開催の可否などについては事務局または各会場へお問い合わせください。

◆ お問い合わせ

■ 企画・制作

玉島湊まちづくり推進協議会

■ 協力

玉島表千家流同友会・裏千家玉交会・藪内流竹風会

■ お問い合わせ

【事務局】

倉敷市玉島阿賀崎1-2-31 玉島テレビ放送内(担当:猪木)

電話:086-526-7075



倉敷市まちづくり推進課委託事業
お茶と町並みで点てる玉島の魅力創出事業

五感で感じる
季節のかけら



お茶会
初心者

初心者マークのついたお茶会は、初心者歓迎のお茶会です。受付で初心者ですと伝えると親切にご案内いただけますよ。

令和3年度版

非日常の空間に、
あなたの感性を取り戻す。



四季折々の変化を楽しもう

なぜ玉島にお茶文化が?

はぐろんとたまべえがお茶会にいったよ

令和3年度 お茶会カレンダー

表紙イラスト
地域おこし協力隊
神野紗也(かみのさや)

「季節の彩りを見つけましょう」

お茶席はその時その時の「旬」を取り入れています。
お菓子も季節をとらえて、意匠をこらしたものが頂けます。
お茶碗も季節に合った形や色、柄のものが使われます。
季節と同様に移り変わる彩りを楽しみ、四季を感じましょう。



利休七則

- 一、茶は服のよきように点て
- 二、炭は湯の沸くように置き
- 三、花は野にあるように
- 四、夏は涼しく冬暖かに
- 五、刻限は早めに
- 六、降らずとも傘の用意
- 七、相客に心せよ

なぜ玉島に茶文化が？

玉島は江戸時代中期に現在の高梁市あたりにあった備中松山藩が、高梁川の流通と瀬戸内海の流通を結ぶ貿易港としてひらいた港町です。
日本海をまわり関門海峡を抜けて堺に着く北前船(きたまえぶね)の寄港地としてたいへん栄えました。
玉島港周辺には商家が集まり、商人のたしなみとして客人をもてなす茶室が作られ、その数は四百に及んだといわれています。現在でも表千家流(おもてせんけりゅう)、裏千家(うらせんけ)、藪内流(やぶのうちりゅう)など複数の流派が玉島の茶文化を継承し、活動されています。

お店紹介

玉島町並み保存地区周辺でお茶を楽しめるお店です。
※掲載されている情報は令和3年3月現在のものです。
営業時間、休みなどは変更される場合がありますので、詳しくは各店舗へお問い合わせください。

しょうとうえん
松涛園
倉敷市玉島中央町1-12-18
086-526-7655
8:30~18:00
休:なし



たまい どうほん ぼ
玉井堂本舗
倉敷市玉島2-6-14
086-522-2251
9:00~18:00
休:なし



ひぐち ほうせんえんちや ぼ
樋口芳泉園茶舗
倉敷市玉島中央町1-12-2
086-522-2907
8:30~18:30
休:日曜



きらくどうろう ぼ
器楽堂老舗
倉敷市玉島中央町1-17-5
086-522-2309
9:00頃~19:00頃
休:なし



お茶会の流れ

はぐるんとたまべえにお茶会の流れを見習おう。

はぐるん
羽黒神社の守り神、からす天狗のキャラクターだ
よ。たまべえよりお兄ちゃん、お茶会のこと
ちょっと知っているんだ。

たまべえ
ダルマガエルのオタマジャクシで、いつか立派なカエルに
なるために頑張っているよ。はぐるんに連れられて来た
けどお茶会のことよく知らないんだ、大丈夫かな？



1 受付



「おはようございます」、「お世話になります」など、受付の方に挨拶をしましょう。芳名録(ほうめいろう)に記帳をするところも。筆の扱いに自信がなくても、チャレンジして書いてみましょう。懐紙、黒文字をもっていないときは、その旨を受付の方に伝えましょう。

2 待合



入室の案内があるまで心静かに待ちましょう。荷物、上着等は待合において、席に入ります。

3 入室



お席の準備ができれば、案内されますので入室します。一番上座は正客(しょうきゃく)の人が座ります。上座をあげて、順番に座りましょう。
*正客~お茶会に招かれたお客さんの代表となる人で、亭主にお礼を述べたり、お軸やお花、お道具について尋ねたりします。

4 はじまり



みなさんが入室されたら、程なくして亭主が入室されますので、ゆっくりとお辞儀をしましょう。
さあ、はじめです。

5 お菓子をいただく



席がはじまったら、正客から順に菓子が出されます。上座から順に自分の分を1個、懐紙に取りましょう。正客が召上がり始めたら、続いていただきますよ。お茶が出てくる前に食べるのが基本です。食べきれない場合は、懐紙に包んで持ち帰ります。

6 お茶をいただく



お茶碗の正面を向けてお茶を出されます。お茶碗を手にとった後、正面をかわすように回して、いただきますよ。何口かにわけてゆっくりいただきます。飲み終わったら、正面に戻して置きます。

7 問答



茶席のしつらえについて、正客と亭主のやり取りで軸、花、菓子などの説明があります。「いいお軸ですね」「きれいなお花ですね」といった感想を述べると、亭主が説明をするというのが一般です。

8 道具拝見



お席がおわると、棗(なつめ)、茶杓(ちゃしゃく)、茶碗などが並べられて、お道具の鑑賞タイムが始まります。道具には触らずに鑑賞しましょう。

9 終了



ひとしきり道具を拝見したら、流れでお開きです。「ありがとうございました」など、お礼の言葉を忘れずに。

コラム「和敬静寂」

お茶の精神は、和敬清寂という言葉に凝縮されている、とよく言われます。
亭主が心を込めて差し出す一碗の茶は、何ものにもかえがたく、ありがたいものです。
清らかな精神でお茶をいただければ、真の心の交流を味わうことができます。